

3 昴学園高校の特色

昴学園高等学校は、日本一の清流「宮川」と星空の町「大台町」（ユネスコエコパークに登録）の豊かな自然に囲まれた「三重県立（公立）」・「全寮制」・「総合学科」・「全日制」の高等学校です。

三重県内全域及び県外から生徒が集まり、特色ある5つの系列（地域探究・総合スポーツ・美術工芸・生活福祉・環境技術）で学んでいます。また、生徒寮「きらら」では、集団生活の中で、自主・自立の精神、お互いを思いやる心を学びます。

※大台町・大紀町・多気町の生徒は自宅通学可能です。

（1）個性が輝く「総合学科」

総合学科とは、「自分探し」をするとともに生涯にわたって「学ぶ力（学び続ける力）」を身に付けることを目的として、自己の生き方や進路への考えを深める学習を行うことを特長としています。普通科や専門学科で学ぶ内容を生徒が自分の興味関心や希望進路に合わせて自ら選択して柔軟に学ぶことができる学科です。そのため、授業には普通科目に加えて様々な分野にわたる選択科目が開設されており、校内外での体験的な学習も充実しています。

1年次は必修科目を中心に学び、2年次以降は5つの系列の多様な科目群から各自の興味や進路希望に合わせた科目を選択し、自分だけの時間割で学習します。また、1年次には総合学科ならではの「産業社会と人間」という授業、2年次以降は「総合的な探究の時間」等で、自分の興味・関心や適性に応じた進路を見つける学習を行うなど、将来に向けたライフプランを作成します。その他、「ハングル」、「人権と平和」等の学校独自の自由選択科目もあります。

本校には次の5つの系列があります。

① 地域探究系列

ヒト・モノ・コトがつながるまち“大台町”をフィールドに、探究活動を通して、『答えのない問いに挑み続ける力』を育み、VUCA（ブーカ）※時代を切り拓いていく人材を育成することを目指します。

※VUCA：V（Volatility：変動性）U（Uncertainty：不確実性）

C（Complexity：複雑性）A（Ambiguity：曖昧性）の頭文字を取った言葉。

『先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態』

② 総合スポーツ系列

様々なスポーツや野外活動の知識と技術を習得し、自己の健康や体力の向上を図るとともに、スポーツへの親しみ方を身につけ、体育系の大学や専門学校への進学をめざします。

③ 美術工芸系列

美術（絵画・彫刻など）・デザイン（ビジュアルデザイン・情報メディアデザインなど）・工芸の専門科目を設け、造形の基礎から学び、専門的な技術を習得していくとともに、自分自身の表現を発見していくことをめざします。

④ 生活福祉系列

高齢者の介護や福祉に関する知識・技術を学び、それらを生かして福祉・医療関係への進学や就職をめざします。

⑤ 環境技術系列

宮川水系の源流地域に位置する特性を利用して、農業作物の育成や環境保全の手法を学びます。在学中に危険物取扱・建設機械等の資格取得にチャレンジし、地域の発展に関心を持ち、貢献する人材の育成をめざします。

(2) 全寮制

原則として生徒全員が入寮し、1・2年生は2人部屋、3年生は個室で、冷暖房完備の生徒寮「きらら」で生活します。公立の全寮制高校は国内でもほとんど例がありません。

県内各地から集まった同世代の若者が集団生活を行うことで、自主・自立の精神を育みながら個性と能力の伸長を図っています。また、豊かな自然とあたたかな地域、充実した施設設備、安心・安全の環境、規則正しい生活リズムの中で、生徒は勉強や部活動に励んでいます。

○寮費(R7年度)：720,000円/年(朝・昼・夕食代、光熱水費等)

半期(5,10月)払い360,000円または月(12か月)払い60,000円

(3) 前期選抜入試で全員を募集

100%前期選抜で入学者を募集。「三重県立高等学校入学者選抜実施日程」に基づき、例年2月初旬に実施(個人面接と作文)をしています。

(4) 単位制

文部科学省の指定する高校の必修科目に加えて、自由に科目を選択し、高校を卒業するために必要な最低単位(74単位)を修得すれば卒業することができます。多くの選択科目が開設され、自己の能力・適性・進路希望等に応じた科目を選択することができます。

(5) 少人数教育

1科目原則2名から授業を開講しています。また、1年生の必修科目の数学、英語は習熟度別学習を行っています。生徒一人ひとりに分かりやすく、納得できる授業を目標にしています。

(6) 90分授業

実習授業や校外授業、体験学習の効果を上げるために90分授業を実施しています。

(7) 情報教育

生徒用コンピュータは、情報系42台、語学系12台、CG系16台を設置し、インターネットには専用回線で接続しています。1年次には全生徒に情報教育を行っており、2年次からは各系列の学習において効果的にコンピュータを活用しています。また、休み時間・放課後にはコンピュータ室を解放し、生徒のレポート作成や調べ学習などに活用されています。令和4年度入学生より、校舎と寮の全域に生徒の1人1台端末用のネットワーク環境(Wi-Fi)が整備されました。

■生徒の1人1台端末の購入について《三重県教育委員会より》

文部科学省では、生徒の1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する「GIGA（「Global and Innovation Gateway for All」の略で、「すべての児童・生徒にグローバルで革新的な扉を」という意味）スクール構想」を推進しており、三重県内の小中学校では、令和3年度から1人1台端末を活用した授業が始まっています。

高校においても、令和4年度から学習指導要領が新しくなり、ICT（情報通信技術、Information and Communication Technology）を活用した学習活動を充実させることが示されています。そのため、令和4年度以降の入学生から、保護者のご負担で学習端末を購入していただき、学習活動を進めていくこととしました。

今後は、授業において、一人ひとりの特性や到達度に応じた「個別最適な学び」や、多様な意見を共有し合意形成していく「協働的な学び」を効果的に進めるとともに、家庭において、学校からオンラインで配信される教材や動画による学習等を行うことにより、学校と家庭での学習が切れ目なくつながる新たな学びを推進していきます。

保護者の皆さまには、ご負担をおかけすることになりますが、1人1台端末を活用した学習活動の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

三重県立高等学校入学時に学習端末（高校では、Chrome OSを搭載したノートパソコン（Chromebook：クロムブック）の活用を基本と考えています。）の購入をお願いします。

（8）国際教育

韓国の養正（ヤンジョン）高校と姉妹校提携を結び、短期交換留学を実施しています。

また、ハングルを自由選択科目＜1～3年次共通＞として用意しています。

※8月には本校生徒が4泊5日で訪韓、11月には養正生徒が訪日します。

（9）地域との連携

大台町（ユネスコエコパークに認定）と連携して教育活動を行っています。数多くある町の行事への参加、ボランティア活動、インターンシップ、文化・スポーツ活動、総合的な探究の時間での活動、保育園・小学校・中学校との相互協力、本校への町の援助などを通じて、地域とともにある開かれた学校づくりを進めています。

三重県立昂学園高等学校校歌

星たちよ

作詞 中西 遥
作曲 寺嶋 陸也

あおく静かな清流に
こだまする樹々のさざめき
悠々と生命の鼓動
天に奏でる星たちよ

宇宙の教えに守られて
胸に秘める未知の輝き
まなぎしに至誠の光
希望に燃える星たちよ

時空を超える昂の光
果てしなく伸びやかに
銀河を翔け巡る

星から星へ生まれ継がれた
閃き嘆き

優しさ強さを思いやる時
新たなる勇気が漲る

今は遙かな故郷に
愛おしむ変わらぬ笑顔
未来へと理想の煌き
心を繋ぐ星たちよ

4 設置学科と生徒定員

(1) 総合学科

- ① 地域探究系列 ② 総合スポーツ系列
③ 美術工芸系列 ④ 生活福祉系列 ⑤ 環境技術系列

(2) 生徒定員

学 年	1 学 年	2 学 年	3 学 年	計
定 員	8 0	8 0	8 0	2 4 0

5 校 時

1. 平常授業(90分授業)

月・火・木・金曜 校時				
予鈴	8:20			
朝の読書・朝学	8:30	～	8:40	
SHR	8:40	～	8:50	
掃除	8:50	～	9:00	
1限目	9:10	～	10:40	
2限目	10:50	～	12:20	
予鈴	13:00			
3限目	13:05	～	14:35	
4限目	14:45	～	16:15	

水曜 校時				
予鈴	8:20			
SHR	8:30	～	8:40	
1限目	8:50	～	10:20	
2限目	10:30	～	12:00	
予鈴	12:40			
3限目	12:45	～	14:15	
LHR	14:25	～	15:15	

2. 60分授業

月・火・木・金曜 校時				
予鈴	8:20			
SHR	8:30	～	8:40	
掃除	8:40	～	8:50	
1限目	9:00	～	10:00	
2限目	10:10	～	11:10	
3限目	11:20	～	12:20	
予鈴	13:00			
4限目	13:05	～	14:05	

水曜 校時				
予鈴	8:20			
SHR	8:30	～	8:40	
1限目	8:50	～	9:50	
2限目	10:00	～	11:00	
3限目	11:10	～	12:10	
予鈴	12:50			
LHR	12:55	～	13:45	

3. 定期考査(50分)

予鈴	8:20			
SHR	8:30	～	8:40	
1限目	8:50	～	9:40	
2限目	9:55	～	10:45	
3限目	11:00	～	11:50	
最終日は考査終了後、SHR10分間				

6 学科と系列の概要

○総合学科

5 系列ある専門分野の中から、自分の適性や将来の進路に応じて系列を選択して専門の知識・技術を身につけることができ、また大学や、専門学校への進学、就職等、どのような希望進路に対しても十分対応できるようになっています。

地域探究系列	ヒト・モノ・コトがつながるまち“大台町”をフィールドに、探究活動を通して、『答えのない問いに挑み続ける力』を育み、VUCA 時代を切り拓いていく人材を育成することを目指します。 地域探究系列では、「大台探究」を軸に、「データサイエンス」等の教科横断的な学びを通して、多面的・多角的な見方や批判的・論理的な思考力を培い、自律的な探究活動を進めていきます。 ③VUCA：V（Volatility：変動性）U（Uncertainty：不確実性）C（Complexity：複雑性）A（Ambiguity：曖昧性）の頭文字を取った言葉。「先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態」
	系列の授業科目（令和7年度） 【2年次生】 大台探究，数学B，化学基礎，論理・表現Ⅰ 【3年次生】 大台探究，データサイエンス，古典探究，英語コミュニケーションⅡ
	進路目標 私立の四年制大学や短期大学への進学

総合スポーツ系列	現代、自己の健康や体力の向上を図るために生涯スポーツが盛んになっている。総合スポーツ系列では、競技スポーツや体育理論、トレーニング理論を通して、様々なスポーツの技術や知識を身に付けるだけでなく、野外で行うレクリエーションスポーツやニュースポーツを行い、自ら興味を持って、進んでスポーツに関わり、楽しむことと、そのスポーツを指導していただける資質や能力を養うことを目標に学習を進めている。将来、スポーツの指導者として、地域スポーツや生涯スポーツの発展に貢献していける知識と技術の習得や態度を学ぶことを目標としている。
	系列の授業科目（令和6年度） <2年次>スポーツⅠ、スポーツⅡ、ニュースポーツ、スポーツⅤ <3年次>スポーツⅠ、スポーツⅡ、ニュースポーツ、スポーツⅤ、スポーツ総合演習
	進路目標 体育系大学・専門学校への進学、レクリエーションスポーツ指導者、社会体育指導者、トレーナー、体育教員

美術工芸系列	美術工芸系列では、絵画、彫刻、デザイン、コンピュータの各分野に関わる専門科目を設け、それらの科目の履修をとおして造形の基礎から学び、専門的な技術を修得していくとともに、自分自身の表現（方法・スタイル）を発見していくことを目標としている。 授業の基本的なスタイルとしては、一つの単位としてまず課題が提示され、生徒自身がそれについて考察し、考えをまとめつつ作品を制作し、仕上げていく。最後に教員や生徒相互による講評をして、まとめとする流れになっている。 この系列での学習をとおして、「モノづくり」の分野でのさらなる研鑽の場を志望し、実現していく生徒も数多くいる。
	系列の授業科目（令和6年度） <2年次>素描、絵画、彫刻、ビジュアルデザイン、情報メディアデザイン <3年次>構成、造形デザイン、造形美術

環境技術系列	農業の野菜栽培や草花管理、木材加工、森林の特徴や管理方法に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、農業の社会的な意義や役割について理解する。また農業に関する諸課題を主体的、合理的に、課題を探究し、持続的かつ安定的な農業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を身に付ける。 以上の内容を座学・校内外実習等で学ぶ一方、各種資格取得にも力を入れている。
	系列の授業科目（令和6年度） <2年次>総合実習、地域資源活用、野菜、林産物利用 <3年次>総合実習、野菜、課題研究、林産物利用、農業と情報
	進路目標 身につけた知識・技能をより一層深め、高めるため進学。地域の発展に貢献する実践者として、農業従事者、関係者の育成を目指す。
	進路目標 美術、デザイン系大学・短大、あるいは美術、デザイン系学部への進学 アート・デザイン系、ファッション系、美容・理容系専門学校への進学
生活福祉系列	生活福祉系列では、適切な介護が行えるように、社会福祉全般において幅広く学習をすすめていく。技術と人を尊ぶ福祉の心を養い、福祉系上級学校への進学、福祉施設への就職をめざす。 そのために、多くの実習体験（老人ホーム等での介護実習、障がい者施設訪問、訪問介護実習など）をしながら学習をすすめていく。
	系列の授業科目（令和6年度） <2年次>社会福祉基礎、生活支援技術、介護福祉基礎、こころとからだの理解 <3年次>社会福祉基礎、生活支援技術、介護福祉基礎、課題研究（家）、手話 <2・3年次生共通>年間4日～7日間の介護実習 <内容> 福祉の理念、歴史、制度、人体の構造・働き、介護に必要とされる食物・被服、住居に関する知識、介護の理念と技術等について学ぶ。
	進路目標 福祉施設等の介護職、福祉・医療系上級学校への進学

17

1. 卒業予定者数

総合学科		
	男	女
	38	9
計	47	

2. 進路内訳

進学	4年制大学	8
	短期大学	5
	専門学校・各種学校	13
	進学準備	1
	男	20
	女	7
就職	計	27
	一般企業	19
	自己開拓	1
	男	18
	女	2
	計	20

4. 就職内定内訳

企業名	R4
トヨタ車体株式会社	2
社会福祉法人 あけあい会	1
株式会社 中勢ゴム	1
株式会社 ミートサブライ	1
東海部品工業株式会社	1
株式会社 富士製作所	1
フジパン 株式会社 豊明工場	2
株式会社 日新化成製作所 多気工場	1
イセゴム工業株式会社 大台工場	2
ニプロファーム株式会社 伊勢工場	1
東プレ東海株式会社	1
株式会社 サカイ引越センター 津支社	1
株式会社 ライジング 明和工場	1
株式会社 NAKAGAWA	1
自己開拓	3
県内就職	18
県外就職	2
製造	16
接客	2
建設	1
介護	1

5. 進学先内訳

大学名	学部	R4
日本福祉大学	スポーツ科学	1
東海学園大学	スポーツ健康科学	1
愛知東邦大学	人間健康	1
岐阜協立大学	経営	1
京都精華大学	デザイン	1
帝塚山大学	文学	1
梅花女子大学	心理	1
近畿大学	農学部	1
合 計		8

公立短期大学

短期大学名	学科	R4
三重短期大学	生活科学科 生心	1
	生活科学科 居環	1
	法経2部	1
合 計		3

私立短期大学

短期大学名	学科	R4
高田短期大学	キャリア育成	1
	子ども	1
合 計		2

専門学校等

専門学校名	R4
三重調理専門学校	3
日本デザイナー芸術学院	1
愛知造形デザイン専門学校	1
伊勢理美容専門学校	1
三重農業大学校	1
名古屋ビジュアルアーツ専門学校	1
愛知ベクトル専門学校	1
ミス・パリ・ビューティ専門学校	1
名古屋歯科医療専門学校	1
文化服装学院	1
鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校	1
合 計	13

【進路状況 令和5年度 進路先一覧】

三重県立昂学園高等学校

1. 卒業者数

総合学科		
	男	女
	32	13
計	45	

2. 進路内訳

進学	4 年制大学	10
	短期大学	2
	専門学校・各種学校	13
	男	16
	女	8
就職	計	24
	一般企業	19
	自己開拓	1
	男	15
	女	5
	計	20

4. 就職内定内訳

就職

企業名	
トヨタ車体株式会社	2
イセゴム工業株式会社 大台工場	4
株式会社 ライジング 明和工場	2
トーエーテック株式会社	2
社会福祉法人 あけあい会	2
奥伊勢フォレストピア宮川山荘	1
株式会社サカイ引越センター 津支社	2
エネクスフリート 株式会社	1
株式会社尾鷲物産おさかな市場おとと	1
三甲株式会社 レジャー事業統括部	1
オカダコーポレーション株式会社	1
自己開拓	1
合 計	20
県内就職	17
県外就職	3

5. 進学先内訳

国立大学

大学名	学部	
奈良女子大学	理	1

私立大学

大学名	学部	
名城大学	経済	1
皇學館大学	文学	1
桜美林大学	教育探求科学群	1
大阪学院大学	経営	1
日本福祉大学	スポーツ科	1
名古屋学院大学	経済	1
京都芸術大学	映画学科	1
デジタルハリウッド大学	デジタルコミュニケーション	1
愛知産業大学	経済	1
合 計		9

私立短期大学

短期大学名	学科	
ユマニテク短期大学	幼児保育	1
中日本自動車短期大学	自動車	1
合 計		2

専門学校

専門学校名	
名古屋市立看護専門学校	1
伊勢志摩リハビリテーション専門学校	1
伊勢保健衛生専門学校	1
神奈川社会福祉専門学校	1
KAFOKAWA ドワンゴ情報工科学院	1
名古屋デザイン学院	1
名古屋こども専門学校	1
ヴェールレージュ美容専門学校	1
京都府立京都林業大学校	1
三重調理専門学校	1
ユマニテク医療福祉大学校	1
大阪電子専門学校	1
名古屋未来工科専門学校	1
合 計	13

三重県立昴学園高等学校 令和6年度 進路先一覧

1. 進路状況

就職	三重県内	17
	三重県外	4
	公務員等	1
	自己開拓等	1
	計	23
進学	四年制大学	15
	短期大学	3
	専門学校等	15
	計	33
その他	ワーキングホリデー	2
	進学待機等	2
合計		60

2. 就職先

企業名 *三重県外は（ ）で記載	人数
イセゴム工業株式会社 大台工場	1
オリエンタル酵母工業株式会社（大阪）	1
カネ春瓦店	1
株式会社 伊勢福	1
株式会社エクセディ 上野事業所	1
株式会社 オクムラ	2
株式会社タックルベリー（愛知）	1
株式会社 トピア	1
株式会社 ホンダカーズ三重	1
株式会社ホンダ四輪販売三重北 ホンダカーズ三重北	1
株式会社 ライジング 明和工場	1
自衛隊 <陸上 一般曹候補生>	1
住友電装株式会社 鈴鹿製作所	1
セコムトセック株式会社	1
東海部品工業株式会社	2
トヨタ自動車株式会社（愛知）	1
トヨタ車体 株式会社	1
松阪興産株式会社	1
丸豊技研株式会社 三重工場	1
横浜冷凍 株式会社（愛知）	1
その他	1
計	23

3. 進学先

四年制大学・学校名	学部・学科	人数
愛知産業大学	経営学部総合経営学科	1
大阪学院大学	国際学部国際学科	1
大阪体育大学	スポーツ科学部スポーツ科学科	2
九州産業大学	芸術学部生活環境デザイン学科	1
皇學館大学	現代日本社会学部現代日本社会学科	1
	文学部コミュニケーション学科	2
鈴鹿医療科学大学	保健衛生学部臨床検査学科	1
鈴鹿大学	国際地域学科国際学科コース	1
中部大学	工学部都市建設工学科	1
名古屋学院大学	経済学部経済学科	1
日本福祉大学	スポーツ科学部スポーツ科学科	1
東大阪大学	こども学部国際教養こども学科	1
桃山学院大学	経営学部経営学科	1
計		15

短期大学・学校名	学科・コース等	人数
高田短期大学	こども学科	1
中日本自動車短期大学	自動車工学科	1
三重短期大学	法経科第1部経商コース	1
計		3

専門学校等・学校名	学科・コース等	人数
伊勢理容美容専門学校	理容科3年制コース	3
上田安子服飾専門学校	ファッションクリエイター学科	1
大原法律公務員専門学校津校	2年制公務員科	1
京都コンピューター学院	国際応用情報学科	1
専門学校大阪ビジュアルアーツアカデミー	放送映画学科映画監督コース	1
	ミュージシャン学科サウンドクリエイターコース	1
辻調理師専門学校	高度調理技術マネジメント学科	1
名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校	ブライダル科スタイリストコース	1
名古屋辻学園調理専門学校	上級調理師科	1
名古屋動物専門学校	動物看護学科動物看護コース	1
三重県立津高等技術学校	自動車技術科	1
ユマニテク看護助産専門学校	看護学科	2
計		15

7 昴学園高校での学習、評価、卒業について

①「履修（りしゅう）」と「修得（しゅうとく）」

科目の授業に参加して、内容を学習したことが認められたとき、それを「履修」と表現します。また、その授業での学習成果が一定以上の水準に達した場合には「修得」と表現します。

これを評定（成績）におきかえると、「履修＝評定1」、「修得＝評定2以上」です。

単位制高校の本校では、学年末の成績において、科目で評定2以上の成績を修めたとき、「単位を修得した」という表現になります。一方、評定1であった場合は「単位を履修した」ことにはなりますが、修得したことにはなりません。

②卒業に必要な単位（たんい）について

高等学校が、義務教育と大きく異なるのは、74単位の単位を修得（評定2以上）しなければ卒業が認められないことです。

本校の生徒は1年間で29単位、1～3年次で計87単位（『ハングル』を選択する場合は計89単位）の科目授業をうけます。このうち、学習指導要領に定められている「必履修科目」を履修したうえで、74単位以上の単位を修得することが、卒業認定のために必要になります。

③単位と授業（科目）の考え方について

本校においては、基本的に「2単位」の科目には、週1回の90分授業があります。また「4単位」の科目には90分授業が週2回あります。例えば、1年次にある『現代の国語』『公共』『科学と人間生活』などは「2単位」の科目、『数学Ⅰ』『英語コミュニケーションⅠ』などは「4単位」の科目です。教育課程に基づいて科目ごとに単位は認定されるため、「公共を1単位」「数学Ⅰを3単位」といった履修や修得はありません。

④評定（成績）について

学習指導要領では、各教科における学習状況の評価の観点について、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到整理されています。評定（成績）は、授業の学習状況について評価の観点に基づいて、総合的に評価した結果となります。

本校では、学期ごとに各科目の評定（成績）を5段階で表して通知しますが、履修（評定1）または修得（評定2～5）を最終的に認定するのは、学年末です。

評定は、高校卒業後の進路決定にも関わってきます。例えば、大学等の指定校推薦に「評定平均（高校3年間の全科目評定の平均）3.5以上」といった条件が示される等です。また、就職や入学試験に志願するときに提出する調査書には、3年間の学習状況として各科目の評定が記載されます。